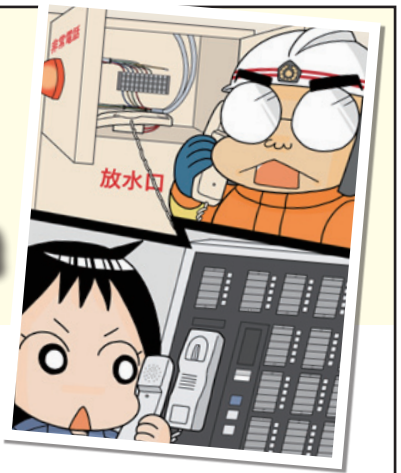


それゆけ！ ほむらくんの 消防設備講座！

第7回 非常コンセント設備・非常電話

文：よしむら りょうた 絵：おぎの じゅんこ
今回は高層建築物や地下街等、消火活動が困難になる場所に必要となる非常コンセント設備と非常電話について解説します。



この前現場で見つけたんですが、連結送水管の放水口にいろいろ他の設備がついているものがありましたよ。あれはなんですか？



非常コンセント
及び
非常電話

それは、「非常コンセント設備」と「非常電話」だ。これらの設備は、高層建築物や地下街で、大規模な対象物に設置されているぞ。こういった対象物で火災が発生したときにはさまざまな活動障害が起きることがある。そんな時にも有効な活動がおこなえるようにするための設備なんだ。



こういった設備
なんですか？



非常電話
(親機)



非常電話
(子機)

非常コンセント設備は、電気を動力とする救助資機材や照明器具の電源として使用ができる。
非常電話は、緊急時に、防災センター等にある親機と、建物各部分にある子機と相互通話ができるんだ。



こういったところに設置
されているんですか？



階段や非常用エレベーターの近くに設置されていることが多い。
これは消防隊が現場に到着した時に消火活動拠点となる安全な場所ので、有効に消火活動をするために配慮されているんだ。

非常コンセント設備と非常電話、それと連結送水管の放水口は防火対象物の各部分から水平距離50メートルごとに設置するよう基準で定められている。そのため、一つの収納ボックスにまとめられていることが多い。他にも屋内消火栓なども同じところに収納されているものもよくある。

最近では、デザインにも

こだわった収納ボックスもあり、デュオ神戸の地下1階に設置されているものは、透明のボックスに入っている。他にもシンプルなものから高級なデザインまで、建物ごとにいろいろなかだわりを感じることもできる。

デザイン都市神戸らしい、おしゃれなボックスを探してみたら楽しいかも。



ほむらくんの チェックポイント！

非常コンセント設備

- **【関係法令】**
- 消防法施行令第29条の2
- 消防法施行規則第31条の2
- 神戸市火災予防条例第41条の3
- **【設置されている対象物】**
- 地階を除く階数が11階以上
- 地盤面からの高さが31メートルを超える階
- 地下街又は地階部分の床面積の合計が1,000平方メートル以上のもの

- **【主な基準】**
- 単相交流100ボルト、15アンペア以上の電気を供給できるものとする。

非常電話

- **【関係法令】**
- 消防法施行規則第25条の2第2項第2号
- 神戸市防災計画指導指針第18条
- **【設置されている対象物】**
- 高さ31メートルを超える建築物
- 地下街
- 1万平方メートル以上の病院、物販店、ホテル等

【主な基準】

- 防災センターや管理室等に親機、各階階段付近に子機を設置し、相互に通話できること。
- 神戸市では放送設備の遠隔起動装置の機能は外して使用しています。

次回 非常用エレベーター

